



ベネッセグループ会社案内

2023-2024

＜ ベネッセグループ 企業哲学 ＞

bene「よく」+esse「生きる」
Benesse=
『よく生きる』

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて
一步一步近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと

私たちは、一人ひとりの「よく生きる」を実現するために
人々の向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援します

そして、お客さまや社会・地域から支持され
なくてはならない企業グループとして、いまと未来の社会に貢献します

※Benesseは、ラテン語のbene(良い、正しい)とesse(生きる)を一語にした造語です。

＜ ベネッセグループ パーパス ＞

誰もが一生、成長できる。
自分らしく生きられる世界へ。

ベネッセは目指し続けます。

志をもって、「人」に関わる社会課題に向き合い、
お客さまの「よく生きる」を
圧倒的にご支援できる企業であり続けるために

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長 CEO

こばやし ひとし
小林 仁



ベネッセグループは、1955年福武書店の創業に始まり、
国内教育、グローバル教育、介護・保育、生活といった分野で
人のライフステージに沿った事業を展開しています。その根
幹に共通してあるのは、1990年に発表した「Benesse(=
よく生きる)」の存在です。

夢や理想の実現に向かって歩み続けるお客さまに寄りそ
い、一人ひとりの成長や課題解決を生涯にわたって応援して
いくこと、それが「Benesse=よく生きる(well-being)」で
あり、ベネッセが時代を超えてずっと大切に、追求し続けて
きた不変の企業哲学です。

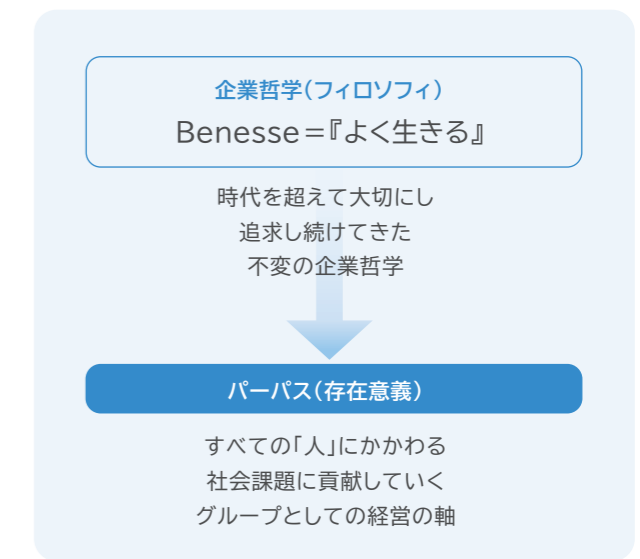
このベネッセの哲学に共感する社員が高い志を持ち、商品
サービスのご提供に取り組んでいます。

現在、我々が行う事業の周辺では、少子化、テクノロジーの
進化など社会的に大きな変化が続いています。このような中、
「Benesse=よく生きる」を実践し、お客さまに役立つ価値
を創造し続けるためには「我々は何のために事業活動をす
るのか(=パーパス)」という原点に立ち返り、社員一人ひとり
がお客さまと社会の変化を捉え、挑戦し続けることが重要
です。すべてのライフステージにおいて、「人」が持つ可能性を
信じ、この社会の大きな変化の中で、さまざまな方が人生の
節目を乗り越え、自分らしく豊かに生きられる世界の実現を
粘り強く追いつけていく。それが、ベネッセグループのパーパス
に込めた想いです。

ベネッセグループは、このパーパスを経営の軸として、お客
さまのニーズの変化や困りごとに向き合いながら、「人」に関
わる社会課題の解決に貢献してまいります。お子さまの学び

に対する意欲や自信を高め、未来に役立つ力を伸ばせる多様
な学びの支援。大学生・社会人が社会で自分らしく生き生き
と働ける、キャリアにつながる学びの支援。そして、高齢化が
急速に進む中での介護人材不足解消に向けた取り組みの
強化や介護DXの推進。これらの挑戦を加速させていきます。
そしてパーパスを中心に、「社会価値」「顧客価値」をこれまで
以上に大切に、「経済価値」とともに高めてまいります。

これまで培ったベネッセ独自の強みと社会が求める
ニーズが交わる部分にこそ、ベネッセのパーパス(存在意義)
はあります。今と未来の「よく生きる」社会の実現に向け、
我々はこれからも、事業を通じて社会課題に真摯に向き合い、
お客さまを圧倒的にご支援できる企業として、さらなる成長
を目指してまいります。



事業活動を通じて、一人ひとりの「よく生きる」を支援します

一人ひとりの、「Benesse=よく生きる」の実現のために。
教育や介護・保育、生活にかかわる5つの事業領域で
幅広いサービスを提供しています。

一人ひとりの『よく生きる』を実現

妊娠・出産・生活

家族の暮らしがより豊かで充実したものになることを支援。

乳幼児

親子のふれあいを大切にしながら、子どもの好奇心を引き出し、可能性を広げる支援。

シニア

「その方らしさに、深く寄りそう。」
ことを大切に、高齢者とそのご家族の「よく生きる」を支援。

大学生・社会人

キャリアにつながる学びを通じて、大学生・社会人が、社会で活躍できる支援。

小中学生・高校生/学校

学習スタイルやニーズに合わせた児童・生徒支援と、学校や先生の支援。

社会の中でなくてはならない企業グループを目指して 数字で見るお客さまとの接点



「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」国内会員数

221万人

乳幼児から高校生(0~18歳)対象の通信教育講座。一人ひとりへのきめ細かな対応に加え、デジタル技術を活用した教材・サービスによって、子どもの学びに対するモチベーションと学習効果を一層高めていきます。

※2023年4月時点



「こどもちゃれんじ」海外会員数

88万人

1989年から台湾、2006年から中国で開始した「こどもちゃれんじ」事業。海外会員数は、約88万人に達しています。

※2023年4月時点 ※中国と台湾の会員数の合計



「進研模試」などのべ受験者数

910万人

全国の中学生(私立)・高校生が受験する国内最大規模の模擬試験。現在の正確な学力を全国レベルで測定することができ、日々の学習、大学入試に向けた学習の具体的な対策を立てることができます。

※2022年度のべ受験者数



小中学校への「ミライシード」導入校数

9,010校以上

協働学習・一斉学習・個別学習に対応した小中学校向けタブレット学習ソフト。2014年から提供を開始し、GIGAスクール構想により急速に進む学校のデジタル化を支援。全国の小中学校で活用されています。

※2023年3月時点



教室の拠点数

2,204拠点

地域に密着した、生徒一人ひとりと向き合うきめ細かな指導で、確かな学力の伸長を図っています。

※東京個別指導学院・アップ・京都洛西予備校・鉄緑会・ベネッセベースタジオ・スターハッカーの合計 ※2023年4月末時点



「まいにちのたまひよ」アプリ年間ダウンロード数

53.8万DL

妊娠から育児期まで役立つ情報を毎日提供。妊娠週数や生後日数に合わせた専門家アドバイスや、出生月が同じ人同士が集まれるコミュニティなどを展開しています。

※2022年4月~2023年3月



「Udemy」国内ユーザー数

130万人以上

世界中に6,200万人以上のユーザーを持つ、アメリカのオンライン動画学習プラットフォーム。うち日本ではベネッセコーポレーションが「Udemy」の事業パートナーとして、個人・法人・行政や大学等に展開しています。

※2023年3月時点



高齢者向けホーム入居者数

約**17,000**人

ベネッセスタイルケアが運営する高齢者向けホームでは、約17,000人のご入居者さまが生活されています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ほとんどのホームが都市部の住宅地に立地しています。

※2023年3月末時点

人生のあらゆるステージを支援する ベネッセのサービス


夢や理想の実現に向けて歩み続けるお客さまに寄りそいながら
一人ひとりの「よく生きる」を生涯支援する企業として、多様な商品・サービスを展開しています。


〈 妊娠・出産・生活 〉

妊娠・出産・育児でサポートできるよう、「たまひよ」は出版やウェブサイト、通販事業などを通して、情報・知識の提供や悩み相談などを行っています。

また自分らしく豊かな生活を送れるように、さまざまなメディアを活用して家庭生活やペットとの暮らしに役立つ情報提供、コミュニティづくりを行っています。

たまひよ  サンキュ!

いぬのきもち 

ねこのきもち 

〈 乳幼児 〉

「こどもちゃれんじ」など、子どもの発達段階に合わせたベネッセ独自の教育サービスで、生活習慣を身につけるとともに、年齢ごとに多彩な興味・関心を引き出し、自ら考えるきっかけを作ります。またオンラインや場での知育・英語教育も提供し、幼児期から学びに向かう力を育みます。

こどもちゃれんじ こどもちゃれんじ English

ベネッセのオンラインならいごと
チャレンジスクール

ベネッセの英語教室
BE studi

ベネッセサイエンス教室

ベネッセの保育園

〈 小中学生・高校生 / 学校 〉

「進研ゼミ」はお子さまの成長段階・個別ニーズに応えるデジタルや紙を活かした設計で学ぶ意欲を高めます。学習塾・教室事業では、対面やオンラインを活用した丁寧な指導、地域に根差したサービスを提供し、個別の目的や理解度に合わせたサポートで、自ら学ぶ力を育みます。

また、学びを届け、変化する学校現場に合わせた商品・サービスを通じて、先生の学習指導・進路指導につながる支援を行っています。

進研ゼミ 進研ゼミ 個別指導教室 EVERES  ベネッセのオンラインならいごと
チャレンジスクール

進研模試 スタディーサポート GTEC  マナビジョン

ベネッセの義務教育向けICTソフト
三ツツイード ICTサポート Classi EDUCOM マネージャー 

★ 東京個別指導学院 ベネッセサイエンス教室 ベネッセ文章表現教室

お茶ゼミ  進学館  洛西進学教室 

研伸館 開進館 個別館 鉄緑会  ベネッセの英語教室
BE studi

 GLOBAL LEARNING CENTER  Route H
海外トップ大進学塾  ベネッセ 海外留学センター
Benesse Study Abroad Center

ベネッセの学童クラブ  地域とともに小中学校教育の未来をデザインする
教育情報ONLINE

ベネッセ教育情報  VIEWnext ONLINE

< シニア >

日本の高齢化が加速するなか、いくつになっても「自分らしく生きる」毎日をサポートするために、お客さま一人ひとりに寄りそいながら、介護を中心とした多様なサービスを提供しています。

エリア **グラニー&グランダ**

くらら まどか ボンセジュール こち

リレ

ベネッセのおうちごはん

ベネッセの介護相談室

看護師・介護士
お仕事サポート

ハートページ

介護求人ナビ

< 大学生・社会人 >

留学や就職など、人生の進路において、自らが納得した選択ができるためのサービス、「学び続ける」社会人に向けたオンライン教育など、可能性を広げ続けるサポートをしています。

udemy udemy business

doda キャンパス doda 新卒エージェント

GPS-Academic Global Proficiency Skills program® GPS-Business® Global Proficiency Skills program®

GTEC STUDY HACKER ENGLISH COMPANY 2018

変化する社会の中で お客さまの課題解決を目指す挑戦

教育領域での事業変革や、大学生・社会人向けの事業開発など、さまざまなライフステージにおいて時代を見据えた取り組みを拡大しています。

udemy

組織のDX化やキャリア教育に関する課題をリスキリングで解決

最新のIT技術やビジネススキルまで広く展開。個人での学びに加え、企業・行政・自治体でのDX人材育成、大学など教育機関でのキャリア教育にも活用し、学びをキャリアへ活かせる仕組みを提供しています。

進路達成プログラム

年内入試の拡大に対応した、高校生の進路支援

大学の年内入試入学者の急増に伴い、スマホなどのデバイスを活用した診断やワークを通して、学校の先生と共に、生徒の進路選択や入学前学習を支援しています。

進研ゼミ 得点力アップアプリズ

学ぶ意欲の低下傾向を踏まえ、楽しく学べるスタイルを提案

「進研ゼミ」の新しい学びのカたちとしてNintendo Switch™用のソフトをリリース。ゲーム形式で勉強に楽しく取り組むことができます。対戦形式で家族や友達と競い合いながら学ぶことで、学習意欲向上を目指します。

※提供学年：小5～中1

介護アンテナ

超高齢社会における介護の質向上のため、自社の知見を公開

ベネッセスタイルケアが提供するウェブサイト。介護現場で働く人たちだけでなく、介護に関わるすべての人々に向けて、介護技術などのノウハウや知見を社会へ還元。高齢者の病気・薬に関する情報なども提供しています。

一人ひとりを見つめ、多様性のある新しい学びも提供

みらいキャンパス

少人数×対話型で、未来への探究力を育むオンライン講座

学年や教科の枠を超え、起業家やアーティストなど実社会で活躍する一流のプロと探究的な学びを深めます。問いを立て、自分なりに考え、学び、行動していく未来型の力が育まれます。

※対象：小・中学生

まるぐランド

子どもの発達特性に合うICT学習サービス

2021年に東京都品川区で実証試験を開始、その後全国の自治体・小学校に導入拡大中。一人ひとりの特性に合わせた「個別最適な学び」で、自信と学ぶ楽しさを育みます。

※日本e-Learning大賞・最優秀受賞(2022年)



企業活動を通じて サステナブルな社会を目指す

「Benesse=よく生きる(well-being)」と「パーパス」のもと、
経営とグループ従業員が一体となりすべてのライフステージで人に関わる社会課題の解決、
企業の成長とサステナブルな社会の実現を目指すための活動を推進しています。

〈 サステナビリティ/ESG活動事例 〉

● ウェルビーイングの在り方を社会と共創する 「ベネッセ ウェルビーイングLab(ラボ)」を設立

Labでは専門家の方や多様な方々と一緒にこれからの豊かさを考え、
情報発信やワークショップなどの対話の機会を提供してまいります。



ウェルビーイングの専門家を招いたワークショップの一例

● グループ従業員が主体的に行動する 意識啓発活動の取り組み

事業を通じて社会課題の解決をしていくために、
グループ全従業員を対象とした勉強会・講演会などを開催。
企業哲学とグループパーパスを自分ごと化する取り組みを行っています。



会社を超え横断で議論を交わす様子

CDP2022 サプライヤー・エンゲージメント評価で 最高評価「リーダー」を4年連続獲得

〈ベネッセホールディングス〉

温室効果ガス排出量削減や気候変動緩和・適応活動に対して、リーダーシップレベル
「A-」企業に選定。また、CDP2022のサプライヤー・エンゲージメント評価において、
4年連続で最高評価を獲得しました。



SRIインデックス



ESGにおける外部評価



株式会社ベネッセホールディングス

会社概要

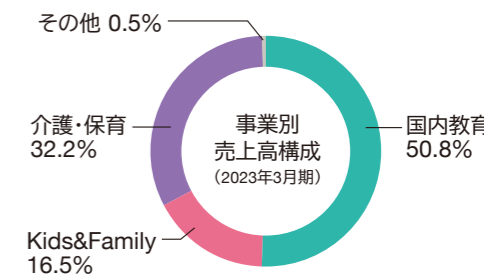
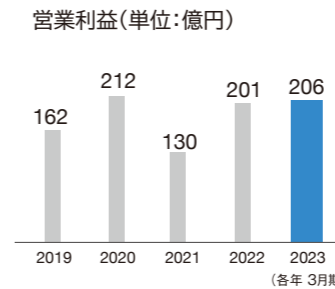
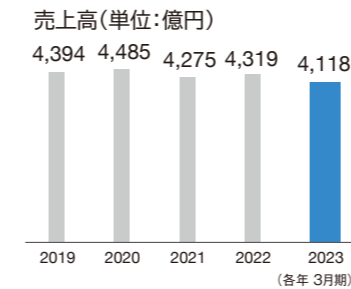
商号	株式会社ベネッセホールディングス
所在地	本社/岡山市北区南方3-7-17 東京本部/東京都多摩市落合1-34
代表者	代表取締役社長 CEO 小林 仁
創業	1955年1月28日
資本金	13,817百万円(2023年3月31日現在)
社員数	連結16,637名(2023年3月31日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード:9783)



本社

東京本部

業績〈連結〉



沿革〈ベネッセグループ〉

- | | |
|---|---|
| 1955 岡山市南方420番地に(株)福武書店を創立
中学向けの図書、生徒手帳発行を開始 | 2003 (株)進研アドを子会社化
Benesse Hong Kong Co., Ltd.を設立 |
| 1962 高校生向け「関西模試」を開始
(73年に「進研模試」として全国展開) | 2006 (株)お茶の水ゼミナールを子会社化 |
| 1969 高校生向け通信教育講座「通信教育セミナー」を開講 | 2007 (株)東京個別指導学院を子会社化
倍楽生商貿(中国)有限公司を設立 |
| 1972 中学生向け通信教育講座「通信教育セミナー・ジュニア」を開講 | 2009 (株)東京教育研を設立
持株会社体制へ移行
商号を(株)ベネッセホールディングスに変更 |
| 1980 第1次CIで「文化化・情報化・国際化」を発信
進研ゼミ「小学講座」を開講 | 2010 (株)ボンセジュールを子会社化 |
| 1988 進研ゼミ「幼児講座」(現在の「こどもちゃれんじ」)を開講
台北支社を設立 | 2012 (株)アップを子会社化
(株)ボンセジュール(株)ベネッセスタイルケアに合併 |
| 1990 第2次CIでフィロソフィ・ブランド「Benesse」を発表 | 2013 配食サービス事業を行う(株)ベネッセパレットを設立 |
| 1991 ベネッセ・ロジスティクス・センター(岡山県瀬戸内市長船町)を竣工 | 2014 介護相談サービス事業を行う(株)ベネッセシニアサポートを設立
(株)ミネルヴァインテリジェンス(現在の(株)ベネッセピーススタジオ)を子会社化 |
| 1993 世界最大の語学企業、現在のベルリッツ コーポレーションを子会社化
「たまごクラブ」「ひよこクラブ」を創刊 | 2015 (株)ベネッセインフォシエルを設立
(株)ベネッセiキャリアを設立 |
| 1994 東京支社(現在の東京本部)が東京都多摩市に移転 | 2016 (株)ベネッセソシアスを設立 |
| 1995 商号を(株)ベネッセコーポレーションに変更
大証2部/広証へ株式上場 | 2019 Classi(株)を子会社化 |
| 1996 「サンキュ!」を創刊 | 2020 (株)スタディーハッカーを子会社化 |
| 1997 大証1部へ指定替え | 2021 (株)プロトメディカルケア(現在の(株)ハートメディカルケア)を子会社化 |
| 2000 東証1部へ株式上場
介護事業の運営会社の(株)ベネッセケアを設立
介護付き高齢者向けホームの伸こう会(株)を子会社化 | 2022 ベルリッツ コーポレーションの全株式を譲渡 |
| 2001 ベルリッツ コーポレーションを完全子会社化
高校向け教材出版社(株)ラーズを設立 | 2023 (株)お茶の水ゼミナールを(株)アップに合併
(株)京都洛西予備校を子会社化 |
| 2003 ベネッセグループの介護事業会社3社を(株)ベネッセスタイルケアとして統合 | |

ベネッセアートサイト直島

ベネッセホールディングスは、福武財団とともに、瀬戸内を舞台とした「ベネッセアートサイト直島」の活動を通してアートを媒介とした地域づくりに取り組んでいます。地域の人々とともに、新しい価値を生み出し、「Benesse=よく生きる」という理念を世界に発信しています。



「南瓜」草間彌生 2022年
©YAYOI KUSAMA 撮影:山本 貞

株式会社ベネッセホールディングス
<https://www.benesse-hd.co.jp/>

